

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成23年6月23日(2011.6.23)

【公表番号】特表2010-526813(P2010-526813A)

【公表日】平成22年8月5日(2010.8.5)

【年通号数】公開・登録公報2010-031

【出願番号】特願2010-507482(P2010-507482)

【国際特許分類】

C 07 C 311/20	(2006.01)
C 07 D 295/22	(2006.01)
A 61 K 31/4545	(2006.01)
C 07 D 211/96	(2006.01)
A 61 K 31/5377	(2006.01)
A 61 K 31/55	(2006.01)
C 07 D 243/08	(2006.01)
A 61 K 31/5513	(2006.01)
A 61 K 31/136	(2006.01)
A 61 K 31/135	(2006.01)
C 07 D 225/02	(2006.01)
A 61 K 31/395	(2006.01)
C 07 D 491/113	(2006.01)
C 07 D 215/58	(2006.01)
A 61 K 31/4709	(2006.01)
C 07 D 217/08	(2006.01)
A 61 K 31/4725	(2006.01)
C 07 D 267/10	(2006.01)
A 61 K 31/553	(2006.01)
C 07 D 471/08	(2006.01)
C 07 D 273/01	(2006.01)
C 07 D 487/08	(2006.01)
A 61 K 31/4985	(2006.01)
C 07 D 209/02	(2006.01)
A 61 K 31/403	(2006.01)
C 07 D 221/20	(2006.01)
A 61 K 31/438	(2006.01)
C 07 D 471/04	(2006.01)
A 61 K 31/437	(2006.01)
A 61 K 31/16	(2006.01)
C 07 D 307/52	(2006.01)
A 61 K 31/341	(2006.01)
A 61 P 35/04	(2006.01)
C 07 D 405/04	(2006.01)

【F I】

C 07 C 311/20	C S P
C 07 D 295/22	Z
A 61 K 31/4545	
C 07 D 211/96	
A 61 K 31/5377	
A 61 K 31/55	

C 0 7 D 243/08 5 0 8
 A 6 1 K 31/5513
 A 6 1 K 31/136
 A 6 1 K 31/135
 C 0 7 D 225/02
 A 6 1 K 31/395
 C 0 7 D 491/113
 C 0 7 D 215/58
 A 6 1 K 31/4709
 C 0 7 D 217/08
 A 6 1 K 31/4725
 C 0 7 D 267/10
 A 6 1 K 31/553
 C 0 7 D 471/08
 C 0 7 D 273/01
 C 0 7 D 487/08
 A 6 1 K 31/4985
 C 0 7 D 209/02
 A 6 1 K 31/403
 C 0 7 D 221/20
 A 6 1 K 31/438
 C 0 7 D 471/04 1 0 4 Z
 A 6 1 K 31/437
 A 6 1 K 31/16
 C 0 7 D 307/52
 A 6 1 K 31/341
 A 6 1 P 35/04
 C 0 7 D 405/04

【手続補正書】

【提出日】平成23年4月28日(2011.4.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

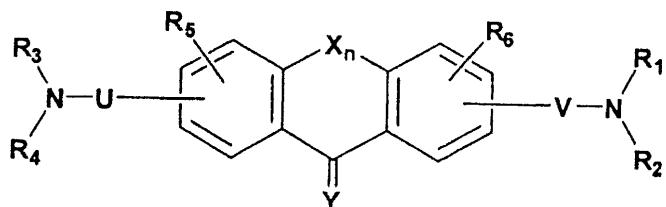
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式Iの構造を有する化合物、



式I

ここで、 $n = 0 \sim 2$ であり、 $n = 1$ の場合、 X は、 CH_2 、 O 、 NR_A 、 CO 、及び $\text{C}=\text{NOR}_A$ から選択され、 $n = 2$ の場合、 $X = \text{CH}_2$ であり、

Yは、O、S、N R_A、又はN R_Aであり、

ここで、R_Aは、H、アルキル、ヘテロアルキル、アルケニル、アルキニル、シクロアルキル、-C(=O)R_B、-C(=O)OR_B、-C(=O)NR_BR_C、-C(NR_B)R_C、-NR_BR_C、ヘテロシクロアルキル、アリール、多環芳香族、ヘテロアリール、アリールアルキル、及びアルキルアリールから選択され、

R_B及びR_Cは、それぞれ独立して、H、アルキル、又はヘテロアルキルであり、

U及びVは、それぞれ独立して、C=S及びO=Sから選択され、ここで、UがC=Sの場合、VはC=Oではなく、

R₁、R₂、R₃、及びR₄は、それぞれ独立して、H、アルキル、ヘテロアルキル、シクロアルキル、アリールシクロアルキル、アルケニル、アルキニル、アリール、ヘテロアリール、及びヘテロシクロアルキルから選択され、NR₁R₂及びNR₃R₄の各々は、独立して、結合してヘテロシクロアルキルを形成することができ、

R₅及びR₆は、それぞれ独立して、H、OH、SH、アルコキシ、チオアルコキシ、アルキル、ハロゲン、CN、CF₃、NO₂、COOR_D、CONR_DR_E、NR_DR_E、NR_DCOR_E、NR_DSO₂R_E、及びNR_FCONR_DR_Eから選択され、

ここで、R_D、R_E、及びR_Fは、独立して、H、アルキル、ヘテロアルキル、アリール、アリールアルキル、ヘテロアリール、ヘテロアリールアルキル、シクロアルキル、又はヘテロシクロアルキルであり、

XがOの場合、YはOであり、U及びVは、双方ともO=S=Oであり、そしてNR₁R₂及びNR₃R₄は同一ではなく、ここで、R₁及びR₃は、それぞれ独立して、H及び低級アルキルから選択され、R₂及びR₄は、それぞれ独立して、低級アルコキシ（低級アルキル）、ジ（低級）アルキルアミノ（低級）アルキル、ハロベンジル、モルホリノ（低級）アルキルから選択され、又は、NR₁R₂及びNR₃R₄は、独立して、ピペリジノ、モルホリノ、ピペラジノ、N-フェニルピペラジノ、エチルアミノ、又は置換グリシンであり、

ここで、Xが(CH₂)₂の場合、YはO又はNOHであり、U及びVは、それぞれO=S=Oであり、そしてR₁、R₂、R₃、及びR₄は、いずれもメチルではなく、

ここで、n=0の場合、YはO又はNOHであり、U及びVは、それぞれO=S=Oであり、そしてNR₁R₂及びNR₃R₄は同一ではなく、R₁、R₂、R₃、及びR₄は、それぞれ独立して、C₁~C₅アルキル、C₁~C₁₀アルキル、C₁~C₆アルキル、C₁~C₇アルキル、フェニル、ベンジル、ナフタレンイル、ピペリジノ、ピリジニル、ピラゾリル、ベンズイミダゾリル、トリアゾリルから選択され、又は、NR₁R₂及びNR₃R₄は、独立して、ピペリジノ、モルホリノ、又はピペラジノであり、

ここで、XがCOの場合、YはOであり、U及びVは、それぞれO=S=Oであり、そしてNR₁R₂及びNR₃R₄は同一ではなく、R₁、R₂、R₃、及びR₄は、それぞれ独立して、メチル、エチル、ヒドロキシ-C₁~C₃-アルキル、SH、RO、COOH、SO、NH₂、及びフェニルから選択され、又は、非同一のNR₁R₂及びNR₃R₄の一方又は双方は、非置換ピペリジノ、N-メチルピペラジノ、又はN-メチルホモピペラジノであり、

ここで、Xが、C=O又はC=NOHの場合、YはO又はNOHであり、U及びVは、それぞれO=S=Oであり、R₁又はR₂の一方及びR₃又はR₄の一方はフェニルであり、そしてR₁又はR₂の他方及びR₃又はR₄の他方は、H又はアルキルではなく、

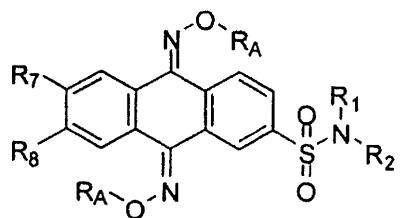
並びに、これらの全ての薬学的に許容される塩、エステル、アミド、立体異性体、幾何異性体、溶媒和物、又はプロドラッグを含む、化合物。

【請求項2】

U及びVがそれぞれO=S=Oである請求項1に記載の化合物。

【請求項3】

式I I Iの構造を有し、



ここで、 R_7 及び R_8 は、H 及び $S O_2 N R_3 R_4$ から独立して選択され、 R_7 及び R_8 の一方は水素であり、他の置換基は請求項 1 に規定する意味を有する、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 4】

R_1 、 R_2 、 R_3 、及び R_4 が、それぞれ独立して、H、アルキル、シクロアルキル、アルケニル、又はアルキニルから選択される請求項3に記載の化合物。

【請求項 5】

R_A が水素であり、 R_1 、 R_2 、 R_3 、及び R_4 が、それぞれ独立して、H、アルキル、シクロアルキル、アルケニル、又はアルキニルから選択される請求項3に記載の化合物。

【請求項 6】

$N R_1 R_2$ 及び $N R_3 R_4$ が、独立して、環中に 1 つの窒素を含む 6 員～15 員のヘテロシクロアルキルである請求項3に記載の化合物。